



「夏の思い出」

横浜市立東小学校
校長 保科桂子

新型コロナウイルスが5類に移行となったこの夏はお祭りやラジオ体操など、地域の行事もずいぶん再開されてきました。私も着任4年目となりましたが、初めて参加させていただく行事もありました。お子さんたちがまちの中で、元気に楽しんでいる様子を見ることができ、有り難くうれしく思うばかりです。大変に暑い夏でした。また、台風の影響を受けて、大変なご苦勞をされた方もいらっしゃるでしょうか。夏休みが明けたとはいえ、暑い日が続きそうです。健康第一に教育活動を進めていきたいと思えます。

夏休みに、横浜市歴史博物館で行われている「中田喜直展」を鑑賞してきました。「中田喜直」は日本を代表する作曲家で、「夏の思い出」「ちいさい秋見つけた」「めだかの学校」など多くの有名な曲を作っています。東小学校の校歌の作曲者でもあります。(今回の展示の中にも東小学校の校歌がありました。)以前の東校だよりの中でも中田喜直についてはふれたことがありますが、生誕100年記念の特別展を見て、改めて、「すごい人が東の校歌を作っているんだな」と感動しました。



横浜市立東小学校

中田喜直は東京音楽学校でピアノを学びます。在学中に太平洋戦争が始まり、戦局の悪化のため、音楽学校でも勤勞奉仕や軍事訓練があり、卒業も繰り上げとなって、陸軍に入隊します。陸軍では飛行訓練も受けたようです。実際に戦闘に参加することはなく終戦を迎えたものの、戦争で命を落とした学友がいたり、ご自身も遺書を書いていたりするなど、「生きていること」「命の大切さ」について深く考える機会となったことがうかがわれました。戦後に中田は素晴らしい曲をたくさん作り、現在私たちが知っている通りの大きな功績をとげていきますが、それは平和だからこそに他ならないことを実感しました。

今の世界の状況を考えると、「平和」は当たり前ではありません。世界を平和にすることは簡単なことではありませんが、平和の大切さや有難さは忘れないで生活していきたいと思えます。

中田喜直展は、横浜市歴史博物館(市営地下鉄センター北駅から徒歩5分)で10月1日まで開催されています。東にゆかりの作曲家について知るよい機会となると思えます。興味のある方は足を運んでみてはいかがでしょうか。